



8,753人

飛驒国府駅

上枝駅

6,953人



高山駅

592,966人



高山市長  
くにしま みちひろ  
國島 芳明

昭和9年の全線開通以来、わたしたちの生活交通手段であると同時に、高山を訪れる国内外の観光客の大切な交通手段の一つである高山本線は、当市の発展にとって欠かせない路線です。

この80年をかえりみますと、多くの関係者の皆様のご努力のおかげで、現在のわたしたちが支えられています。これからも多くの皆様に愛され利用され続けることを願ってやみません。

ありがとう高山本線。いまでも、そしてこれからも!!

職場の同僚と旅行で  
高山を訪れた

きくかわ  
菊川 さくみ さん(写真中)



高山と奥飛驒温泉郷を旅行するため、名古屋から来ました。列車に乗っていると、平野だった景色も知らぬ間にどんどん山が迫ってきて、自然が創り出す飛水峡や長い宮トンネルを抜けると急に広がる景色、線路沿いの美しい川と紅葉が織りなすコントラストなど、車窓からの景色はどれもが素敵でした。

高山本線は旅行の思い出の大事な1ページです。



80周年にあたる10月の土日祝日は、高山駅をはじめ、各所で記念イベントが開催されました。(写真は10月25日、高山駅のようす)

## 高山本線80年のあゆみ

昭和8年(1933)1月

高山本線最大の難所「宮トンネル」完成

昭和8年(1933)8月

飛驒萩原～飛驒小坂間開通

昭和8年(1933)11月

杉原～坂上間開通

昭和9年(1934)10月

飛驒小坂～高山間、坂上～高山間開通。高山本線が全通

昭和11年(1936)11月

高山市誕生

昭和24年(1949)12月

飛驒一宮水無神社初詣の臨時列車運転開始

昭和33年(1958)3月

準急「ひだ号」運転開始。名古屋～富山間を約5時間で結ぶ

昭和40年(1965)8月

名鉄の準急「たかやま号」運転開始。犬山経由で名鉄神宮前～高山間を結ぶ



上枝～国府間を走る「ひだ号」



開業当時の高山駅構内



宮トンネル完成



工事中の宮トンネル